

## NEWS LETTER

14時30分解禁

## 平成26年11月 全国百貨店売上高概況

平成26年12月19日

## I. 概況

1. 売上高総額	5,581億円余
2. 前年同月比	-1.0% (店舗数調整後/8か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	83社 239店 (平成26年10月対比+1店)
4. 総店舗面積	6,102,270㎡ (前年同月比:-2.2%)
5. 総従業員数	78,563人 (前年同月比:-2.8%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	4-6月 -6.9%、5-7月 -3.7%、6-8月 -2.6%、 7-9月 -1.3%、8-10月 -1.1%、9-11月 -1.3%

[参考] 平成25年11月の売上高増減率は2.4% (店舗数調整後)

## 【11月売上の特徴】

8か月連続のマイナスとなったが、減少率は-1.0%と前月(-2.2%)から1.2ポイント改善している。

本年11月は、付加価値志向の高まりで高額品が堅調に推移したほか、前年に比べ休日(日曜・祝日各1日増)が2日増加するなどプラス要素があった半面、平均気温が高めに推移したことで主力の冬物重衣料(衣料品:-3.2%)が不振だったことや地方店の苦戦などから、最終的には前年実績に若干届かなかった。これにより本年1月-11月累計売上高は、5兆5,017億円余(前年同期比:店舗数調整後+0.6%/店舗数調整前+0.2%)となった。

地区別では、大都市(10都市:+0.1%)が3か月ぶりにプラスとなる一方、地方店(10都市以外:-3.1%)については、前月(-4.8%)から1.7ポイント改善したものの、地方経済の回復の遅れもあって8か月連続で前年実績を下回った。

商品別には、天候要因で苦戦した衣料品と、前年の高い伸びの反動で家庭用品(前年:+5.7%⇒本年:-5.8%)が前年実績を下回ったが、好調なアイテムとしては、インバウンドの活況もあって化粧品(+6.3%)が5か月連続で増勢を維持しているほか、ラグジュアリーブランドを含む身のまわり品(+2.4%)や、ほぼ前年並みの水準まで戻した美術・宝飾・貴金属(-0.6%)など高額商材も回復基調を示している。また、食料品(-0.6%)も前年に迫る水準で推移した。

訪日外国人売上高は、免税制度改正による対象品目拡大や円安・ビザ緩和などの効果を背景に、売上高(約92億円/+156.4%)・購買客数(+179.8%)共に一段と増勢(22か月連続プラス)を強め、単月で過去最高の売上高を更新するなど、引き続き大都市の商況を底上げしている。

## 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「11月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 日本付近は中旬を除き北からの寒気の影響が弱く、全国的に月平均気温が高くなった。降水量は、北・東日本の日本海側で少なく、他地区では平年並みだった。中旬には一時的に強い寒気が流れ込み大雪となる地域もあった。

(2) 営業日数増減 29.7日(前年同月比-0.2日)

(3) 土・日・祝日の合計 12日( " +2日/日曜・祝日各1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数137店舗)

①増加した:35店、②変化なし:44店、③減少した:58店

(5) 11月歳時記(文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮)の売上(同上/有効回答数106店舗)

①増加した:18店、②変化なし:56店、③減少した:32店

## NEWS LETTER

## 全国百貨店 売上高速報 2014年11月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>558,122,473</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.0 ( -1.3)</b>
<b>10都市</b>	<b>376,015,414</b>	<b>67.4</b>	<b>0.1 ( -0.1)</b>
札幌	13,480,230	2.4	0.4
仙台	7,579,958	1.4	-5.4
東京	145,920,910	26.1	0.3
横浜	34,250,043	6.1	0.0
名古屋	33,892,887	6.1	0.2
京都	21,854,904	3.9	-7.7 ( -10.4)
大阪	75,244,813	13.5	2.4
神戸	14,194,610	2.5	-1.3
広島	11,639,671	2.1	-0.6
福岡	17,957,388	3.2	3.2
<b>10都市以外の地区</b>	<b>182,107,059</b>	<b>32.6</b>	<b>-3.1 ( -3.7)</b>
北海道	2,896,103	0.5	-2.9
東北	9,356,158	1.7	-2.9
関東	86,370,757	15.5	-4.2 ( -4.1)
中部	13,428,635	2.4	-3.2
近畿	18,096,473	3.2	-2.9
中国	13,035,416	2.3	-1.0
四国	9,482,330	1.7	0.7 ( -6.2)
九州	29,441,187	5.3	-1.9 ( -3.8)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>558,122,473</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.0 ( -1.3)</b>
紳士服・洋品	44,846,790	8.0	-0.5 ( -0.7)
婦人服・洋品	120,686,801	21.6	-4.3 ( -4.7)
子供服・洋品	11,663,778	2.1	-0.2 ( -0.4)
その他衣料品	12,996,397	2.3	-4.8 ( -5.0)
<b>衣 料 品</b>	<b>190,193,766</b>	<b>34.1</b>	<b>-3.2 ( -3.6)</b>
身のまわり品	66,108,002	11.8	2.4 ( 2.1)
化粧品	33,082,676	5.9	6.3 ( 6.2)
美術・宝飾・貴金属	28,029,107	5.0	-0.6 ( -0.8)
その他雑貨	20,831,177	3.7	-0.4 ( -1.1)
<b>雑 貨</b>	<b>81,942,960</b>	<b>14.7</b>	<b>2.1 ( 1.8)</b>
家 具	6,190,135	1.1	-10.1 ( -10.4)
家 電	2,131,422	0.4	-24.3 ( -24.3)
その他家庭用品	17,521,840	3.1	-1.1 ( -1.4)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>25,843,397</b>	<b>4.6</b>	<b>-5.8 ( -6.0)</b>
生 鮮 食 品	34,842,070	6.2	-2.1 ( -2.7)
菓 子	39,020,782	7.0	0.5 ( 0.2)
惣 菜	33,363,950	6.0	-0.2 ( -0.4)
その他食料品	56,195,134	10.1	-0.7 ( -1.1)
<b>食 料 品</b>	<b>163,421,936</b>	<b>29.3</b>	<b>-0.6 ( -1.0)</b>
食 堂 喫 茶	14,181,175	2.5	0.3 ( 0.1)
サ ー ビ ス	6,092,741	1.1	4.0 ( 4.0)
そ の 他	10,338,496	1.9	-0.3 ( -1.0)
<b>商 品 券</b>	<b>20,401,493</b>	<b>3.7</b>	<b>-3.4 ( -3.5)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

# NEWS LETTER

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | 0.1% (店舗数調整後/3か月ぶりプラス)   |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.1% (店舗数調整後/8か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
札幌	0.4	0.0	8か月ぶりプラス
仙台	-5.4	-0.1	8か月連続マイナス
東京	0.3	0.1	2か月ぶりプラス
横浜	+0.0	0.0	3か月ぶりプラス
名古屋	0.2	0.0	2か月ぶりプラス
京都	-7.7	-0.3	8か月連続マイナス
大阪	2.4	0.3	5か月連続プラス
神戸	-1.3	0.0	3か月連続マイナス
広島	-0.6	0.0	8か月連続マイナス
福岡	3.2	0.1	2か月連続プラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-3.1</b>	<b>-1.0</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
北海道	-2.9	0.0	8か月連続マイナス*
東北	-2.9	0.0	8か月連続マイナス*
関東	-4.2	-0.7	8か月連続マイナス
中部	-3.2	-0.1	2か月連続マイナス
近畿	-2.9	-0.1	8か月連続マイナス
中国	-1.0	0.0	8か月連続マイナス*
四国	0.7	0.0	2か月ぶりプラス
九州	-1.9	-0.1	8か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

# NEWS LETTER

## Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が3か月ぶりのプラス。衣料品が2か月連続、家庭用品と食料品が8か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が5か月連続、菓子が2か月連続のプラスとなった。その他では、紳士服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、家具、その他家庭用品、生鮮食品、その他食料品が先月より改善をみせた。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-1.0</b>	<b>—</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-0.5	0.0	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.3	-1.0	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-0.2	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-4.8	-0.1	2か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-3.2</b>	<b>-1.1</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>2.4</b>	<b>0.3</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
化粧品	6.3	0.3	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-0.6	0.0	8か月連続マイナス*
その他雑貨	-0.4	0.0	3か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>2.1</b>	<b>0.3</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
家具	-10.1	-0.1	8か月連続マイナス
家電	-24.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-1.1	0.0	3か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-5.8</b>	<b>-0.3</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-2.1	-0.1	8か月連続マイナス*
菓子	0.5	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	-0.2	0.0	3か月連続マイナス*
その他食料品	-0.7	-0.1	8か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-0.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
食堂喫茶	0.3	0.0	8か月ぶりプラス
サービス	4.0	0.0	6か月ぶりプラス
その他	-0.3	0.0	3か月連続マイナス
<b>商品券</b>	<b>-3.4</b>	<b>-0.1</b>	<b>45か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

## NEWS LETTER

## 平成26年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成26年12月19日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,459億円余
2. 前年同月比	0.3% (2か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.8%(89.9%) : 非店頭-4.1%(10.1%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成26年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	854,956㎡ (前年同月比:-2.4%)
6. 総従業員数	19,152人 (前年同月比:-0.7%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	4-6月 -6.3%、5-7月 -3.2%、6-8月 -1.6%、 7-9月 0.0%、8-10月 0.5%、9-11月 0.2%

[参考] 平成25年11月の売上高増減率は3.9% (店舗数調整後)

## 【11月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、休日日数の増加や各店の営業努力などを背景に、前年実績を1%程度上回る水準で推移した。
- (2) ファッション分野では、高めの気温を背景に、婦人コート等の防寒衣料が不振(衣料品:-2.4%)だった半面、紳士服(+2.5%)と子供服(+2.9%)は5か月連続で前年クリアした。また、ハンドバッグやアクセサリ等の身のまわり品(+3.9%)も、付加価値志向の高まりで、ラグジュアリーブランド中心に好調を維持し5か月連続プラスとなる一方、雑貨(+5.1%)と食料品(+0.2%)もそれぞれプラスを確保した。
- (3) なお、化粧品については前月に続き、インバウンド効果を活かして二桁増を確保する一方、美術・宝飾・貴金属(+3.3%)が、消費税率引き上げ後初めて前年実績をクリアするなど、高級時計などを中心に、全国に先駆けて復調の兆しを見せている。
- (4) 季節商材のクリスマスケーキ、おせち、歳暮の受注状況については、いずれもほぼ前年並みで推移した。なお、歳暮の動きでは、ネット受注のシェアが高まると共に、ご自宅用に購入(自家需要)するケースも増加している。
- (5) 東京地区の12月中間段階(12月15日)までの商況は、前年同期比で日曜日が1日少ないこともあって、概ね前年比2%のマイナスで推移している。

## 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
  - ①増加した: 11店、②変化なし: 5店、③減少した: 3店
- (3) 11月歳時記(文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮)の売上(同上/有効回答数9店舗)
  - ①増加した: 3店、②変化なし: 4店、③減少した: 2店

## NEWS LETTER

## 東京地区百貨店 売上高速報 2014年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
<b>総 額</b>	<b>145,920,910</b>	<b>100.0</b>	<b>0.3</b>
紳士服・洋品	13,682,053	9.4	2.5
婦人服・洋品	27,541,405	18.9	-4.6
子供服・洋品	2,307,150	1.6	2.9
その他衣料品	2,677,492	1.8	-7.9
<b>衣 料 品</b>	<b>46,208,100</b>	<b>31.7</b>	<b>-2.4</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>18,794,269</b>	<b>12.9</b>	<b>3.9</b>
化粧品	8,849,745	6.1	11.3
美術・宝飾・貴金属	8,912,038	6.1	3.3
その他雑貨	6,496,788	4.5	-0.1
<b>雑 貨</b>	<b>24,258,571</b>	<b>16.6</b>	<b>5.1</b>
家 具	1,672,735	1.1	-7.7
家 電	1,461,590	1.0	-20.9
その他家庭用品	4,961,478	3.4	5.0
<b>家 庭 用 品</b>	<b>8,095,803</b>	<b>5.5</b>	<b>-3.4</b>
生 鮮 食 品	6,640,530	4.6	-2.2
菓 子	9,997,486	6.9	0.3
惣 菜	8,022,635	5.5	-1.6
その他食料品	14,881,441	10.2	2.1
<b>食 料 品</b>	<b>39,542,092</b>	<b>27.1</b>	<b>0.2</b>
食 堂 喫 茶	3,143,518	2.2	0.2
サ ー ビ ス	2,470,734	1.7	6.5
<b>そ の 他</b>	<b>3,407,823</b>	<b>2.3</b>	<b>-5.6</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	4,704,291 千円	-3.3
従 業 員 数	19,152 人	-0.7
店 舗 面 積	854,956 m <sup>2</sup>	-2.4
営 業 日 数	30.0 日	前年 30.0 日

# NEWS LETTER

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が5か月連続、雑貨が2か月連続、食料品が3か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が2か月連続、家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。紳士服・洋品、子供服・洋品、化粧品が5か月連続、菓子が4か月連続、美術・宝飾・貴金属、その他食料品が8か月ぶり、その他家庭用品が2か月ぶりのプラスとなった。その他では、その他雑貨と生鮮食品が先月より改善をみせた。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>0.3</b>	<b>—</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	2.5	0.2	5か月連続プラス
婦人服・洋品	-4.6	-0.9	2か月連続マイナス
子供服・洋品	2.9	0.0	5か月連続プラス
その他衣料品	-7.9	-0.2	3か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-2.4</b>	<b>-0.8</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>3.9</b>	<b>0.5</b>	<b>5か月連続プラス</b>
化粧品	11.3	0.6	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.3	0.2	8か月ぶりプラス*
その他雑貨	-0.1	0.0	3か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>5.1</b>	<b>0.8</b>	<b>2か月連続プラス</b>
家具	-7.7	-0.1	8か月連続マイナス
家電	-20.9	-0.3	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	5.0	0.2	2か月ぶりプラス
<b>家庭用品</b>	<b>-3.4</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
生鮮食品	-2.2	-0.1	8か月連続マイナス*
菓子	0.3	0.0	4か月連続プラス*
惣菜	-1.6	-0.1	4か月ぶりマイナス*
その他食料品	2.1	0.2	8か月ぶりプラス*
<b>食料品</b>	<b>0.2</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
食堂喫茶	0.2	0.0	8か月ぶりプラス
サービス	6.5	0.1	3か月ぶりプラス
その他	-5.6	-0.1	4か月連続マイナス
<b>商品券</b>	<b>-3.3</b>	<b>-0.1</b>	<b>3か月ぶりマイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>